

卒業必修	保育士必修	幼稚園教諭必修	選択
授業科目名： 子どもと環境 ナンバリング：2322	教員の免許状／保育士資格 取得のための必修科目	単位数：1単位 (半期) 演習	担当教員名：片口 桂 担当形態：単独
科目／系列	領域及び保育内容の指導法に関する科目 ／保育の内容・方法に関する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等 ／教科目	領域に関する専門的事項 ・環境 ／保育内容の理解と方法		
授業の到達目標及びテーマ 1. 領域「環境」で必要となる感性を養い、基礎となる身近な環境の理解を深める実践知を身につける。 2. 様々な環境（人的環境・物的環境・社会的環境など）について理解し、現代の子どもを取り巻く環境の現状を知り、適切な環境について考えることができる。 3. 生物や自然との関わりの事象に対する子どもの興味・関心の発達について説明できる。			
授業の概要 領域「環境」の指導で必要となる感性を養い、子どもと環境との関わりの発達について学ぶ。 子どもを取り巻く環境の現状や課題を理解し、適切な環境について考えることができるようにする。			
授業計画 第1回：オリエンテーション 第2回：領域「環境」のねらいと内容を理解する 第3回：乳幼児期の発達における環境との関わりについて理解する —もの・こと・ひとを通じた探求心、有能観、認知など心理学視点から— 第4回：子どもにとっての社会的環境 第5回：乳幼児の発達と環境との関わりを理解する —現代社会の乳幼児を取り巻く環境と課題— 第6回：乳幼児の発達と環境との関わり（身近な草花を通して） 第7回：乳幼児と生物・自然との関わり（植物の栽培） 第8回：乳幼児と生物・自然との関わり（植物の栽培・自然体験） 第9回：乳幼児と生物・自然との関わり（生物の飼育） 第10回：乳幼児と生物・自然との関わり（自然体験） 第11回：現代社会の乳幼児を取り巻く環境とその課題（グループワーク） 第12回：現代社会の乳幼児を取り巻く環境とその課題（グループワーク） 第13回：現代社会の乳幼児を取り巻く環境とその課題（グループ発表） 第14回：現代社会の乳幼児を取り巻く環境とその課題（グループ発表） 第15回：まとめ 定期試験：レポート		授業時間外の学習 ・毎回の課題の予習と復習（1時間） ・次週のテーマについての調べ学習（1時間） ・ICTを活用し、子どもを取り巻く保育現場の環境をリアルタイムで学ぶ双方向型授業を行う グループワークの準備とまとめ（1時間） グループ発表の準備（1時間）	
授業の方法 講義と演習。提出物にコメントを書いて返却する。ICTを活用し保育現場との双方向型授業を行う。			
テキスト 『幼稚園教育要領』（最新版）、『保育所保育指針』（最新版）、『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』（最新版）、『この花なに？がひと目でわかる！新散歩の花図鑑』岩槻秀明（著）新星出版社			
参考書・参考資料等 必要に応じて図書館で植物図鑑や動物図鑑を調べる。			
学生に対する評価 提出物や口頭発表（30%）、授業参画度等（20%）、定期試験（50%）。 ルーブリックを活用し、総合的に評価する。			
履修上の注意 子どもを取り巻く様々な環境に興味・関心をもって取り組むこと。			
実務経験の有無	有	実務経験	元保育園園長
保育園の実務経験を活かし、子どもの生活、発達にとって環境がいかに大切かを具体的に学べるように授業を行う。			